

・自己評価 —教職員—

<p style="text-align: center;">I 保育の計画性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育理念・教育目標の理解 ・幼稚園教育要領の理解 ・教育課程の編成 ・指導計画の作成 ・環境の構成 ・評価・反省
<p>保育の計画性でよく出来ていると思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階を踏まえ、適切な玩具やカードゲーム・ボードゲームを設定している。 ・子どもの興味に合わせた遊びや活動を考え、道具や場所を準備したり、遊びこめる環境設定ができた。 ・遊びの展開に応じて環境構成を考えることが出来た。 ・季節に応じた装飾や、子どもが描いたり作ったりしたものを保育室の装飾に取り入れた。 ・季節の変化を感じながら、飾りを作ることが出来た。 ・毎日記録を取る中で、日々の保育を振り返ることが出来た。 ・日々の振り返りの中で、保育者同士が同じ思い・目標をもって保育することができた。 ・学年会議で計画を立てて、見通しをもって準備ができた。 ・保育室の玩具は定期的に洗い、清潔に保たれるよう心掛けた。 	
<p>保育の計画性でこれからの課題と思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育要領の理解があまりできていなかった。 ・遊びを見つけることが出来なかったり、友だちとの関わって遊ぶことが苦手な子への対応 ・一人ひとりの興味関心を探る ・理念や目標など、保育者一人ひとりが十分に理解し合えるよう、話し合いの時間を作り、保育に活かしていく。 ・子どもがやってみたいと思う遊びの準備はできたが、もっといろいろ発展できるように工夫し、どのように発展していくのか、子どもの学びにどう繋がっていくのかをよく観察する。 ・季節に応じた環境構成を考える。 ・子どもたちの想像力を働かせたり、考えたりできる素材の準備が足りなかった。(自然物や廃材など) ・草花のフラッシュカードの活用 ・玩具の使い方・約束事など、統一した指導。 	
<p style="text-align: center;">II 保育の在り方、 幼児への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と安全への配慮 ・幼児理解 ・指導とかかわり ・保育者同士の協力・連携
<p>保育のあり方、幼児への対応でよく出来ていると思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの話をよく聞き、スキンシップを取りながら安心感をもって過ごせるよう、心がけている。 ・子どもの思いを受け止め、寄り添い一人ひとりと丁寧に関わる。 ・話を聞き、一緒に遊び寄り添いながら、一人ひとりを理解しよう意識しながら関わる事ができた。 ・ケガには十分配慮し保育をした。 ・プラスの言葉がけを心がけた。 ・善悪の判断は、クラス全体で話し合い、幼児同士で意識し合えるように心がけた。 ・玩具の清掃・室内の温度湿度管理など、徹底して行った。 ・一人ひとりの姿を受け止め、精一杯関わる事が出来た。 ・子どもの興味関心に合わせて、環境を構成することができた。 	

保育のあり方、幼児への対応でこれからの課題と思ったこと

- ・環境構成など、他のクラスを参考にし、保育者同士で意見を出し合い、情報交換を行う。
- ・一人ひとりに寄り添って関わりながらも、全体をよくみて、観察して保育する。
- ・幼児の姿や園全体のこと、保育者全員が共通理解できるように、話し合いの中で問題点や対応方法などをもっと共有する必要がある。
- ・異年齢交流活動での子どもの様子を、会議の中でもっと詳しく伝え合う。
- ・一人ひとりにその子に合った対応を考える。

Ⅲ 保育者としての 資質と能力

- ・専門家としての能力・姿勢・義務
- ・組織の一員としての在り方
- ・保育の楽しみ・喜び

保育者としての資質と能力でよく出来ていると思ったこと

- ・提出物は期日を守ることが出来た。
- ・子どもの様子について、クラスの保育者間で話し合い、関わり方や想いを共有することができた。
- ・研修で学んだことを実践することが出来た。
- ・発表会を通して、子どもたちと一緒に一つのものを作り上げることの楽しさややりがいを感じることが出来た。
- ・子どもたちの成長がとても嬉しく感じる。
- ・今までできなかったことが出来るようになったこと、成長したことを子どもと一緒に喜び合う事ができた。
- ・子どもの個性を把握し、それぞれに応じた対応を心がけた。
- ・他クラスの保育者・前担任の保育者にも相談したりしながら、子どもにとってどのような関わりがよいのかを考えることができた。
- ・連携を取り合って保育ができた。
- ・子ども達の性格や個性を理解して、関わり保育することが出来た。
- ・クラス担任だけでなく、園長・教頭・主任に相談することで、子どもたちへの対応を考え見直し、前向きに保育することができた。
- ・毎日、子どもたちと関わることを楽しみながら過ごすことが出来た。
- ・十分に睡眠をとり、家庭での時間も大切に毎日元気に仕事をする事が出来た。

保育者としての資質と能力でこれからの課題と思ったこと

- ・保護者と連絡を取り、子どもの成長を保護者と一緒に見守っていく。
- ・提出物の締め切りを意識して、見通しをもって取り組む。
- ・保護者との関わりに戸惑うことも多く、子どもの様子をうまく伝えられなかったり、言葉が足りなかったりしてしまうため、少しでも安心感をもってもらえるように努力する。
- ・保護者との連絡の中で、気になる事だけではなく、成長した姿、保育者自身が嬉しかったことなども伝えていく。
- ・保育者としての自覚をもち、自分の考えを明確にして、相手にわかりやすく伝えられるようにする。
- ・行動・言葉遣いなど、子どもたちのモデルとなる。
- ・十分にコミュニケーションをとれた保護者とそうでない保護者がいたので、もっと配慮して信頼関係を築く必要があった。
- ・先輩の先生に保育の在り方や子どもとの関わり方をもっと見てもらいたい。意見をもらうことで気付けることがあると思う。また自分も先輩の立場として、後輩の先生の成長につながるように、しっかりと見てあげながら伝えられることは伝えていきたい。

<p style="text-align: center;">IV 保護者への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信と受信 ・守秘義務の遵守 ・対応上の ・マナー・心がまえ ・要望への対処の仕方
<p>保護者への対応でよく出来ていると思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉遣いに気をつけた。 ・明るく挨拶を交わす事を心がけた。 ・電話対応は顔が見えない為、より気をつけて話した。 ・保護者からの質問に対しては、わかりやすく返答できるように努めた。 ・保護者の思いを受け止めながら、一緒に解決策を考えていくことが出来た。 ・子どもの様子を伝えながらも、保護者が気になっていることなどを聞き、分かりやすく伝えるよう努力をした。 ・子どもの様子をこまめに伝えたり、課題に向けてどう関わっていくかを話し合ったり連携を取ることが出来た。 ・保護者からの要望は、すぐに伝えることが出来た。 	
<p>保護者への対応でこれからの課題と思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子を伝える時は、課題を伝えるだけではなく、今の様子、課題のためにどのような目標があって、どのような指導をして、どんな願いがあるのかを伝えるように話す。 ・課外教室やお迎えで幼稚園に来園することの多い保護者とコミュニケーションを取ることが多くなってしまっているのが現状であった。 ・わかりやすく、簡潔に伝えることが難しく、課題と感ずる。 ・電話対応の難しさを感じる。もっと重点を絞って伝えられるようにしたい。 ・日常的な事を、会った時に会話をしてコミュニケーションを取るべきだと思った。 ・保護者が安心して子どもを預けられるようにこまめに家庭と連絡を取り、園での様子を伝える。 ・伝え忘れや聞き忘れがないように、メモをとるなどして、自分なりに忘れない工夫をする。 	
<p style="text-align: center;">V 地域の自然や社会とのかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然・人々とのかかわり ・小学校との連携 ・子育ての支援と地域への開放
<p>地域の自然や社会とのかかわりでよく出来ていると思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放時に未就園児の子どもと交流が出来たのはよかった。 ・散歩に行ったり、その時に会った地域の方と会話を交わすことができた。 ・園外へ行く際に出会った地域の方、幼稚園に出入りする業者の方やお客様に笑顔で挨拶をし、子どもの手本となるようにした。 ・老人施設訪問で地域の方との交流はとてもよい機会となった。 ・幼小交流では、子どもたちにとっても保育者にとっても、小学校での生活を知る機会となりとてもよかった。事前の打ち合わせや活動後の反省をし、小学校の先生と色々な話が出来たことも学びとなった。 	
<p>地域の自然や社会とのかかわりでこれからの課題と思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域についてまだ知らないことも多いため、子どもと一緒に調べても楽しそう。 ・地域との関わりがあまりないため、地域マップを活用し、園外に行き交わす機会を増やす。 ・お仕事見学のような活動にもっと時間を作りたい。 	

**VI
研修と研究**

- ・研修・研究への意欲・態度
- ・保育者としての専門性に関する研修・研究
- ・今日的課題に関する研修・研究

研修と研究でよく出来ていると思ったこと

- ・研修を受けることで、自分の保育を見つめ直したり、他の保育者や講師の方からのアドバイスをもらったりすることができ、勉強になった。
- ・毎回、自分になかった考えを知ることが出来て勉強になる。
- ・研修で学んだことを、実践に移し、自分の保育に活かすことが出来た。
- ・自分の欠点をいつも気にとめ、プラスの方向に行くように努めた。

研修と研究でこれからの課題と思ったこと

- ・今まで、参加してきた研修内容以外にも、色々と積極的に参加したい。
- ・保育者同士で共有したり、自主的に様々な事を出来るようにしたい。
- ・預かり保育・子育て支援について、園全体で共通理解できるようにしていく。
- ・保育者間で、もっと意見を出し合って、よりよい保育が出来るようにしたい。
- ・研修後の振り返りをもっと行い、自分の保育に役立てる。